



アケビの実
(10~15cm 程度)

2019. 4. 16 香川県立五色台少年自然センター(高松市生島町 423)で撮影

アケビの花 (アケビ科アケビ属)

アケビは秋になると、サツマイモのような大きな実をつけます。中にはゼリー状の果肉があり、非常に甘く、昔から山菜として食べられてきました。また、分厚い皮は、少し苦みがありますが、味噌炒めなど食用として利用されます。種からは油をとることもでき、江戸時代には高級品として大切にされていたそうです。春には、写真のようにたくさんの花を咲かせます。これからたくさんの実をつけるのが楽しみですね。